

令和元年度

滋賀県低炭素社会づくり賞

(事業者行動計画書部門)

滋賀県低炭素社会づくり賞(事業者行動計画書部門)とは・・・

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例に基づく事業者行動計画書制度において、事業者行動計画書および報告書を提出した者のうち、事業活動における自社の温室効果ガス排出量の削減に関して他の事業者の模範となる特に優れた取組を行っている事業者を表彰するものです。



受賞者紹介

オムロン株式会社 草津事業所

■ 空調熱源装置の更新(CO₂削減効果:524t)

グループ全体でCO₂削減に取り組む中で、ガスから電気へのエネルギー転換および省エネ設備への更新を行った。空調熱源装置1台をガス式(冷温水発生機)から電気式(モジュールチラー)に更新。さらに、モジュールチラーの導入による細かい負荷調整や冷水負荷供給時の時間帯の変更など、運用面での取り組みも行い、電力ピークを低減(コスト削減)した。

■ 省エネ性能の高い機器への更新(CO₂削減効果:165t)

これまでに水銀使用の蛍光灯を含む照明器具約4,300台をLED化するとともに、電力のうち消費割合が高い空調機器についても省エネ性能の高い機器に更新した。

■ 地域に貢献する低炭素への取組

草津市「みち」サポーターへ参画し、定期的・継続的に市道の美化活動に取り組むとともに、森林組合と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、森林保全にも貢献している。

また、事業所から出た残飯の生ごみを堆肥化し、近隣の農業高校へ提供するとともに、収穫された野菜を事業所の食堂で利用し、地域循環にも貢献している。



株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズ 彦根事業所

■ 新生産棟における省エネ対策の導入(CO₂削減効果:615t)

平成31年2月に竣工した新生産棟については、「環境にやさしく省エネルギー」をコンセプトに設計。省エネ対策を実施しない場合と比べ、エネルギー使用量で約40%削減した設計とした。

導入した省エネ対策として、作業域とそれ以外の領域を分割し、人感センサーで検知した作業域に集中して冷暖房使用や照明点灯を行うタスクアンビエントクリーン方式の空調・照明を採用した。また、空調ユニットは1台単位で止められるシステムを導入し、生産ラインの変化に対応できるような設計とした。

■ 設備のチューニングによる省エネ(CO₂削減効果:833t)

社内にて省エネプロジェクトを立ち上げ事業所全体活動を推進。現状把握から省エネが可能な項目を抽出し、主に投資を伴わないチューニング案件を10件実施した。コンプレッサーの統合と台数制御設定圧力変更によるアンロード電力の最小化(305t)、クリーンルームの室圧を下げ、最適な圧力設定によるエネルギー削減(264t)、原水加温設定温度の低減(80t)などを行った。他事業所への水平展開も検討している。



株式会社ダイフク 滋賀事業所

「環境経営推進委員会」を通じたCO₂排出量の削減(CO₂削減効果:264t)

目標達成状況の確認や「省エネアクション自己診断チェックリスト」での各工場棟/事務所の取組実施調査等を通じ、省エネ促進に向けた課題の抽出や対策の検討を行っている。

また、総合展示場「日に新た館」では、2010年からは太陽光発電システムを導入。展示場に係るエネルギー使用量から算出した年間CO₂排出量に対し、太陽光発電でまかなえないCO₂排出量に対して、CO₂削減事業の排出枠に抛出することで100%カーボン・オフセットを実施し、CO₂排出量ゼロの展示館を実現している。また、来館者に対しても事業所内の間伐材で作成したハガキを渡し、地球温暖化に対する啓発活動を行っている。

環境配慮製品の普及による社会でのCO₂の削減

「省エネルギー」「省資源」等の観点から、独自の基準による製品の環境性能評価・認定制度「ダイフクエコプロダクツ認定制度」を2012年から開始。基準年度の製品の環境性能によるCO₂排出換算量から差し引いた量をCO₂削減貢献量として算出。昨年度のCO₂削減貢献量は約6.5万t、累積認定数は54機種となった。

エコアクション制度を通じた低炭素社会づくり活動

2012年から社員のボランティア活動や環境活動に対し、エコポイントを付与する「DAIFUKUエコアクション」制度を開始。全獲得ポイントと同額を外部の環境団体へ寄付している。車利用の削減(エコトリップ)など楽しく気軽に低炭素社会づくりに参加できる活動を考案されている。



長浜キャノン株式会社

蒸気配管保温による省エネ(CO₂削減効果:406t)

工場内に設置されている空調機加温用の蒸気配管について、配管直管部は保温処置をしていたが、フランジ接続部やバルブ部等は実施しておらず、放熱ロスが生じていた。そこで、約2,800か所のこれら接続部等を保温し、都市ガス使用量の大きな削減につなげた。

省エネ専門委員会を中心とした事業所全体での取組(CO₂削減効果:163t)

省エネ活動を推進するため、全部門が参加する「省エネ専門委員会」を組織。年3回実施する委員会において具体的な取組の進捗確認を実施するなど、全社活動を展開している。エアリーク撲滅活動、排気ファンの集約、集塵装置の制御変更によるオンデマンド運転化やLED照明への更新(約960台)などにより、省エネ活動に取り組んでいる。

蒸気ドレン排熱回収による省エネ(CO₂削減効果:89t)

蒸気ドレン水を回収する回収装置では、軟水を用いて85°Cから45°Cまで冷却していた。一方、空調用温水は蒸気を使って50°Cまで加温していた。そこで、排熱回収用熱交換器を導入することで、蒸気ドレン水の排熱を利用して空調用温水を加温することが可能となり、都市ガス使用量および軟水の削減につながった。



問い合わせ先

滋賀県琵琶湖環境部温暖化対策課

電話 077-528-3493

メールアドレス ondan@pref.shiga.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/>